

各議員の発言持ち時間は、1人一律60分以内です。

会派代表質問

- 3ページ……藤本 智子（日本共産党津市議団）
 4ページ……西山 みえ（県都クラブ）、田中 勝博（一津会）
 5ページ……小菅 雅司（津和会）、倉田 寛次（市民クラブ）
 6ページ……平岡 益生（公明党議員団）

個人質問

- 6ページ……岩脇 圭一
 7ページ……青山 昇武、八太 正年
 8ページ……川崎 正次、岡村 武
 9ページ……長谷川幸子、杉谷 育生
 10ページ……和田甲子雄、加藤美江子
 11ページ……豊田 光治、小林 貴虎
 12ページ……山崎 正行、前田 勝彦

会派の構成

- 県都クラブ……田中 千福、西山 みえ、岡 幸男、川崎 正次、田矢 修介、前田 勝彦、中村 勝春
 市民クラブ……福田 慶一、小林 貴虎、山崎 正行、倉田 寛次、川口 和雄、辻 美津子、村田 彰久
 一津会……渡辺 晃一、岩脇 圭一、桂 三発、川瀬 利夫、岡本 知順、田中 勝博
 津和会……伊藤 康雄、小菅 雅司、杉谷 育生、大野 寛、田村 宗博
 日本共産党津市議団……長谷川幸子、藤本 智子、和田甲子雄、豊田 光治
 公明党議員団……青山 昇武、加藤美江子、平岡 益生、横山 敦子
 無会派……岡村 武、八太 正年



ふじもとともこ
藤本 智子

にほんきょうさんどうつしぎだん
日本共産党津市議団

終わりになき防災対策は 地域と連携を密に

問 防災強化年間として取り組む二つのモデル事業と自主防災活動活性化交付金事業を進めるにあたって、地域や自主防災組織との密な連携が必要ではないか。特に自主防災活動活性化交付金事業は、24年度から取り組んだが、活用された自主防災組織は全体の1/4程度にすぎない。

沿岸地域のみならず市域全体を視野に入れて、取り組みを強化する必要があるのではないか。

答 平成25年度は、自治会単位での「津波避難計画作成モデル事業」及び各自主防災組織が中心となり、平常時から訓練等を行う「避難所運営モデル事業」を実施する。これらの事業を職員が地域の皆さんと一緒に作り上げていき、その過程や結果を他の自主防災組織等に紹介をして取り組みを広げていくことで、地域との連携をさらに深めていきたい。

個々の自主防災組織で積極的にソフト事業を実施いただくための自主防災活動活性化交付金は、啓発や説明が不足していたことから、利用促進に向けた説明に強く取り組み、すべての自主防災組織に交付金を活用いただけるように働きかけたい。

●その他の質疑・質問●

- 高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて、市社協・地区社協の連携強化と「絆のボタン」推進を
- 団地集中浄化槽の早期移管を
- 農業振興として、集落営農の立上げ要件緩和と中山間地の小規模圃場対策、地域ぐるみでの獣害対策への支援を
- 総合支所予算増額を
- 定数条例見直しを など



▲総合支所の予算増額とシステムづくりで地域要望に応えよ